

8月3日(火曜日)

ドル/円

利上げ期待は依然として高まらず

2日(月)の主な推移

チャート: 30分足 2日(月)朝7時 ~ 3日(火)朝6時

ダウ平均株価

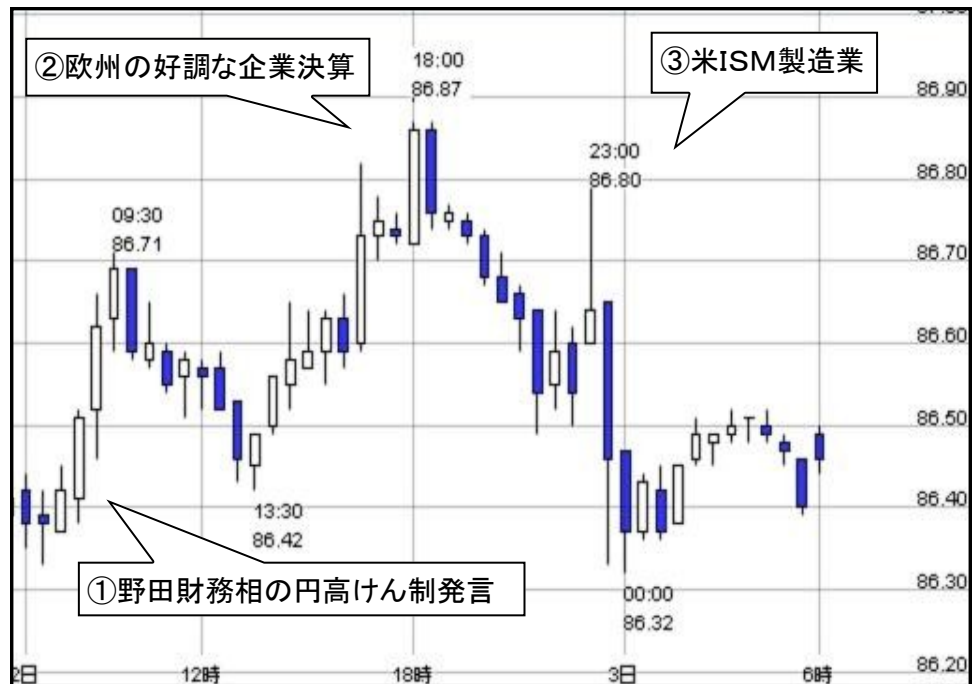
10674.38ドル
(+208.44ドル)

米長期金利
(10年債利回り)

2.9681%
(+0.0575%)

NY原油先物

81.34ドル
(+2.39ドル)



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、()は前日比
出所:外為どっとコム

- | | |
|---|---|
| ① | 1日(日曜)に発表された中国7月PMI製造業が51.2となり、市場予想(51.4)と同程度の水準となったことで、それまでのリスクを回避する姿勢が和らいだ。また野田財務相が「過度の(為替)変動は経済や金融の安定に好ましくない」と円高けん制発言を行ったことも材料視され、ドル/円は86.71円まで上昇した。 |
| ② | 英HSBCや仏BNPパリバの好調な企業決算を受け、欧州株が上昇した。この流れにより市場ではリスクに対して積極的となる姿勢へとつながり、ドル/円も86.87円まで上昇した。しかし87.00円の節目突破に失敗すると、その後は上値の重い展開となった。 |
| ③ | 23時00分に発表された米7月ISM製造業景況指数は55.5と市場予想(54.0)を上回る結果となり、ドル/円は一時86.80円まで上昇した。しかしバーナンキ連邦準備制度理事会(FRB)議長が講演にて「雇用の回復には依然として時間を要する」「米経済の完全な回復には相当な道のりが残っている」と述べたことが手掛かりとなり、ドル/円は86.32円まで下げた。また米2年債利回りは過去最低水準からは上昇したものの、依然として盛り上がり欠ける展開となり、ドル/円は86円半ばでのみ合いが続いた。 |

上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

本日の見通し

本日の予想レンジ: 85.90- 87.20円

昨日は米ダウ平均株価が大きく上昇したものの、バーナンキFRB議長の発言では、経済は完全な回復からは依然として程遠いことが述べられたことにより、米国の金利市場は前述の2年債を始め、10年債も依然として3%を下回るなど、盛り上がりには欠ける展開となっている。このことから、米国での利上げ期待が盛り上がらない間は、ドル/円は積極的に上値を試すムードにはなりづらいものと見られる。

本日のアジア市場では昨夜の米株が大幅に上昇した流れを受け、本邦の株式市場が堅調となることが予想され、併せてドル/円は底堅い展開が見込まれる。また今回の豪準備銀行(RBA)キャシュターゲットでは金利据え置きが見込まれており、豪ドルが大きく動く可能性は低いと見られる。もし豪ドル/円が大きく上下する場面であれば、ドル/円にもその動きが波及することが予想されることから、念のため気をつけたい。(川畑)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

| 日付 | 時間 | 注目度 | 経済指標、イベント等 | 前回発表数値 | 市場予想 |
|--------|-------|-----|----------------------|--------|-------|
| 8/3(火) | 13:30 | | (豪) RBAキャシュターゲット | 4.50% | 4.50% |
| | 21:30 | | (米) 6月個人所得 [前月比] | +0.4% | +0.2% |
| | 21:30 | | (米) 6月個人支出 [前月比] | +0.2% | +0.1% |
| | 23:00 | | (米) 6月中古住宅販売保留 [前月比] | -30.0% | +4.0% |

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com